



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校

《校長室だより》

発行：校長 寺田 好江

令和2年度 第15号

令和2年11月18日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

体験を通して学ぶ(2)

5年生は総合的な学習の時間に、パラリンピックについて調べていました。アンプティサッカーは、パラリンピックの種目にはなっていませんが、切断障害をもった方が行うサッカーで、ワールドカップが開かれるくらい世界中で行われている種目です。昨年の5年生も体験しました。

11月9日(月) 普段は義足で生活している金井さんは、膝の病気で足を切断することになりましたが、アンプティサッカーと出会い、たくさんの仲間と楽しく過ごしている事や障害があっても挑戦すればできるようになることがたくさんあるというお話を聞きました。

いよいよ杖を貸してもらい実際に体験です。初めは杖をついて、歩いたり走ったりするだけでも大変そうでしたが、ゲームになると夢中でボールを追いかけていました。

ゴールキーパーは手の切断障害をもった方がするので、片腕を服の中に入れてゴールを守りました。

障害者スポーツは、障害を持った方がするスポーツのように感じていた子供たちが、同じような条件で、障害者と一緒に楽しむことができるスポーツであることを、体験を通して学び感じた一日になりました。



キーパーは片腕でゴールを守ります



【新型コロナウイルス感染症拡大防止について】

日々感染者のニュースが報じられ、第3波とも思える感染者の急増に心配は尽きませんが、学校ではできる予防対策をしっかりと講じていくことしかないと考えております。以下の点について再度のお願いになりますが、週末のミュージカル鑑賞・週明けの授業参観・懇話会開催の為に御理解・御協力をお願いいたします。

*毎朝の検温・健康観察を必ず行い、調子がすぐれない時には無理をせず自宅待機をお願いします。

(ランドセルの健康カード入れは12月に全校分新しいものをお渡しする予定です。)

*ご家族がPCR検査を受けた場合は、結果が出るまで自宅待機をお願いします。自宅待機については欠席にはなりません。